年度末報告書（資金分配団体）

● 提　出　日　：2022 年 4 月 28 日
● 事　業　名　：　支援付住宅建設・人材育成事業
● 資金分配団体　：　公益財団法人パブリックリソース財団
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☐有　☑無

11

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
１．実行団体の運営する無料低額宿泊所が改築、改修された状態になる。	改築、改修された施設数	３か所	2021～2022 年	・新規施設１件建設済 ・改修２件完了済 ・入居者数：３団体計 45	2
２．実行団体において、居住者に寄り添った生活支援力をもつ人材が育成される。	生活支援力に関する研修参加者数	実行団体が決定した段階で協議	2021～2022 年	・研修受講済（３団体計９名/本事業に直接従事する職員数のみカウント） ・建設ならびに改修した施設において、生活支援に従事する職員がそれぞれ配置されていることを確認した	2

【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
３．実行団体において、無料低額宿泊所の改築、改修計画が策定される。	適切かつ効果的な改築、改修計画	3 か所の実行団体別改築、改修計画	2021 ～ 2022 年	・新築建設、改修計画が策定され、計画通りに実行された	2
４．実行団体において、休眠預金以外の資金調達計画ができる。	現実的な資金調達計画	3 か所の実行団体別資金調達計画	2021 ～ 2022 年	・弊財団事務局と外部の専門家による伴走支援を受けて、融資を含む現実的な資金計画を策定した。資金計画に基づいた無理のない収支計画も作成され、計画通りに遂行されていることを確認した。	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3.非資金的支援の活動に関する報告
1．外部の建築専門家による伴走支援 ➢ 実行団体３団体に対する新築ないし改修計画案の精査及び必要に応じてのアドバイス、現地訪問による視察、現場確認、実行団体側の設計事務所との面談 ➢ 実行団体３団体に対する建設後、改修後の現場訪問による視察、現場確認 2．外部の資金調達専門家による伴走支援 ➢ 実行団体３団体における資金計画策定ならびに収支計画作成時のアドバイス、資料の精査 ➢ 現地訪問による視察 ➢ 融資・借入を行う実行団体（ほうぼく、ワンファミリー仙台）については、月１回程度の継続した伴走支援を実施。メール、電話、現場訪問などを通じて、各団体の事業責任者、経理担当者等と協議を行い、融資先選定、借入に必要な書類の精査やアドバイスなどを実施。また、融資先との面談交渉のサポートも行った ➢ さらに、事業資金計画だけにとどまらず、団体全体の資金計画の策定や資金管理、余日管理、収支管理等について具体的な提案やアドバイスを行った
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

実行団体３団体のうち２団体については、コロナ感染者が発生したことによる対応を迫られた。
１．ふるさとの会
2021 年度は同法人の無低・日住施設だけでも、7 施設で計 44 名の利用者、計 8 名の職員が陽性となった。職員も陽性となったことで、内部での現場支援にあたる職員の配置が難しくなり、かつ外部のサービスを利用していたケアサービスも内部ですべてまかなわなければならなくなり業務過多になるという状況が発生した。同法人では、今回の経験を活かし、マニュアルの整備強化、日ごろからの地域との連携強化などに取り組んでいる。
また、同法人だけに関わらず、同様の施設を運営している他の法人においても、コロナ陽性者が入居者の中に発生した際に、緊急的に陽性者だけを受け入れ、共同運営するシェルターが必要との認識を持ち、試験的にいくつかの法人の持ち寄りによるコロナ陽性者のための緊急施設の運営も行った。
２．ほうぼく
2022 年 1 月に本体事業職員が感染し、同じ事務所を使用していたため、結果、事務所内 4 名中 2 名が感染し、他部署からの応援で支援体制を維持した(1/20～1/31)。入居者への感染は無かった。2022 年 3 月より、感染対策も含め、事務所を広いサロン用空き部屋へ移転した。

① 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　　☐広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2. 広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） （1）ほうぼく ➢ 2021 北九州 SDGs 未来都市アワードの受賞者の決定及び授賞式について https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/00300326.html

➢　西日本新聞
NPO 法人抱樸が「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」の大賞（市民部門）を受賞！「空き物件を活用した支援付き住宅事業」モデルの一層の拡大を。2022 年 3 月 3 日
https://www.nishinippon.co.jp/item/o/898178/

➢　週刊　高齢者住宅新聞
空室転用、見守り支援　2021 年 7 月 15 日
https://www.koureisha-jutaku.com/newspaper/synthesis/20210623_01_1/
➢　Sirabee 編集部
子供の貧困を食い止めるために　様々なアプローチで挑む日本全国のキーパーソン■空室マンションを転用して、見守り支援付き住居を提供（福岡県北九州市）　2022 年 3 月 9 日
https://sirabee.com/2022/03/09/20162812820/

2.広報制作物等

3.報告書等

4.イベント開催等（シンポジウム・フォーラム等）

④規程類の整備に関する報告

1.　規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：

2.　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐はい　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：変更はしていない。

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　☐外部に窓口を設置　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☐はい　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：事案が発生した場合に委員会が開催されることになっている。当該年度は該当する事案は発生していないため、委員会は開催されていない。

6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは１枚２MG 以下、3～4 枚程度）

１．ふるさとの会　新築施設建設完了の後の訪問時　（訪問日：２０２１年１０月２９日）

２．抱撲　改修工事終了後・引き渡し後の訪問時　（２０２１年１２月８日）